

水産試験場公開デーを開催します

—水試の秋祭り！楽しみながら水産業を学ぼう！—

企画情報部 企画普及グループ

試験研究の成果等を紹介し、水産業への関心を高めていただくため、水産試験場公開デーを開催します。子供も大人も楽しめるように秋祭りの縁日をイメージした企画を用意しましたので、ぜひ、ご来場ください！（入場無料）

1 日時：令和6年10月19日（土曜日）午前10時から午後4時まで

2 場所：愛知県水産試験場（蒲都市三谷町若宮97）

3 主な内容

（1）試験研究成果の紹介、研究施設等の見学

・水産試験場の試験研究成果の紹介、研究施設見学、観測機器の展示、愛知県の水産業を紹介するビデオ上映

（2）参加・体験型企画

・チリメンモンスターを探せ！、自分で作ろう海苔すき体験、ミニチュア潮干狩り体験、わくわく投網体験（人数限定）、金魚セリ体験（人数限定）

（3）展示、観察

・小さな水族館、海のいきものタッチプール、五感を使ってウナギを堪能

（4）お楽しみコーナー

・狙って学ぶサーモン射的！、遊んで学ぶプランクトン縁日、愛知のおさかなクイズ、目指せ爆釣！おさかなカード釣り、弥富の金魚すくい（小学生限定）

（5）漁業団体によるPRと即売

・シラスをゲット！ビリビリ棒ゲーム（数量限定）
・「愛知のり」、「ウナギ加工品」、「絹姫サーモン加工品」等の販売

※内容は、変更することがあります。



図1 チリメンモンスターを探せ！



図2 金魚すくい

漁業生産研究所でウナギ仔魚飼育、はじめました。

漁業生産研究所 栽培漁業グループ

ウナギ養殖に用いられる種苗はすべて天然のシラスウナギに依存していますが、シラスウナギの採捕量は減少しています。そのため、ウナギ人工種苗の大量生産技術開発が求められています。

本県では、これまで同生産技術開発を内水面漁業研究所で実施してきました。令和6年度からは規模拡大のために海水を十分に使用できる漁業生産研究所に拠点を移し、水産庁委託事業「令和6年度ウナギ種苗の商業化に向けた大量生産システムの実用化事業」に参画して、他機関と共同で試験を実施しています。

本県は、この事業の中でシラスウナギになる前のウナギ仔魚に適した乾燥飼料開発に取り組んでおり、より優れた乾燥飼料を開発することで、ウナギ人工種苗の大量生産技術開発に貢献します。

現在は、規模拡大のための施設整備を実施しており、乾燥飼料の性能を評価するための予備試験を行っていますが、施設整備が完了する11月から、本格的な試験を開始する予定です。

遠くない将来、愛知県で人工種苗のシラスウナギが見られるように技術開発を進めていきます。



図3 55日齢のウナギ仔魚

三河湾の環境を学ぶ海洋学習で活躍！

漁場環境研究部 漁場保全グループ

水産試験場では、夏休みに開催される各種の海洋観測実習や環境学習会などに講師を派遣して、学習のサポートを行っています。

7月27日には、小中学生と保護者を対象とした県環境局主催の「三河湾環境学習会」が開催されました。県立三谷水産高校実習船「愛知丸」に乗船し、海洋観測等の体験を通じて三河湾の環境について学んでもらうイベントです。三河湾の環境に関するセミナー、かつおの一本釣り体験に引き続いて行われた、水質観測、底質調査及びプランクトンの観察について、水試職員が講師を務め、愛知県の漁業についても織り交ぜながら解説をしました。

参加者には、表層と底層で水温が大きく異なることを実際に採取した海水を触って体感したり、顕微鏡を使って自ら様々な動植物プランクトンを探したりと、普段、潮干狩りなどで接する三河湾とは異なる三河湾の側面を体験してもらいました。

これらの学習会等を通じて、漁業や環境への関心を深められたことと思います。今後もこれらの取組で伊勢・三河湾の漁場環境の学習を支援していきます。



図4 三河湾環境学習会の様子

